

1 教職課程

(1) 免許状取得について (教職課程の履修)

- ①教員免許状を取得しようとする学生は卒業に必要な単位のほかに、免許教科に応じた教科および教職に関する科目の単位修得が必要です。
- ②中学校教諭1種免許の取得には介護等体験が義務づけられています。
- ③教職課程を履修するには学費とは別に教職課程履修登録費と教職実習履修費が必要です。さらに、教育実習費・介護等体験費と、教員免許状授与申請料などの諸費用が必要です。なお、教育実習・介護等体験には、「賠償責任保険」への加入が必要ですが、「学生総合保険」加入者は、その必要はありません。
- ④教職課程履修希望者あるいは履修中の学生は、必ず、新年度の学年別教職課程ガイダンスに出席して下さい。

(2) 取得できる免許状の 種類と教科

| 学部 | 学科 | 免許状の種類 | 免許教科 |
|----|----|-------------|------|
| 経済 | 経済 | 中学校教諭1種免許状 | 社会 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | 地理歴史 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | 公民 |
| | | 高等学校教諭1種免許状 | ※商業 |

注. ※印の免許教科「商業」については、2005年度以降入学生のみ取得可能。

(3) 教職課程履修手続

- ①教職課程履修の申し込みは2年生始めです。新2年生教職課程ガイダンス終了後、所定期日に受け付けを行います。
- ②中学校教諭1種免許状と高等学校教諭1種免許状の両方の取得を申し込むことができます。
- ③2年始め……5,000円(教職課程履修登録費)
3年始め……23,000円(教職実習履修費)
7,500円(中学校教諭1種免許状取得希望者の介護等体験費)
介護等体験時および教育実習実施時……各250円(「賠償責任保険」加入料)
「学生総合保険」加入者は必要ありません。
- ④一旦納入した教職課程履修登録費(5,000円)および教職実習履修費(23,000円)の返還はできません。
- ⑤取得を申し込んだ免許状の種類(中学校教諭1種免許状・高等学校教諭1種免許状)は変更できません。

(4) 教職課程科目の履修

教職課程科目は、「教職共通科目」「教科に関する科目」「教職に関する科目」に区分されますが、それぞれに必要な単位をすべて修得して下さい。(後出の科目一覧表参照)

- ①「教職共通科目」は教職課程履修者全員が修得して下さい。1年生から開講されますので、計画的に履修を始めて下さい。(後出の科目一覧表参照)
- ②「教科に関する科目」は免許教科に応じた科目を修得して下さい。1年生から開講されますので、計画的に履修を始めて下さい。(後出の科目一覧表参照)
- ③「教職に関する科目」は免許状の種類・免許教科に応じた科目を修得して下さい。(後出の科目一覧表参照)
- ④「教職に関する科目」(読替科目を除く)の単位は、年間履修制限単位には含まれません。また卒業所要単位にも算入されません。
- ⑤「教職に関する科目」のうち、下表の科目は該当する「全学共通科目」を修得することで自動的に単位が認定されます。

| *教職に関する科目 | 全学共通科目(開講) |
|-----------|------------|
| 教育原論 | 教育学A(1~4年) |
| 教育構造論 | 教育学B(1~4年) |
| 発達と学習の原理 | 心理学B(1~4年) |

注. 「*教職に関する科目」は、授業時間割表に表示されません。

- ⑥「教職共通科目」「教科に関する科目」「教職に関する科目」(後出の科目一覧表参照)の中には、複数学部合同開講や履修者数制限を行う科目があります。自己責任において漏れのないよう履修登録を行って下さい。

(5) 介護等体験

- ① 中学校教諭1種免許状取得希望者は、3年生において、県下の「社会福祉施設(5日間)」と「盲・聾・養護学校(2日間)」で合計7日間以上の介護等体験が義務づけられています。体験の施設や日程の決定については、掲示で案内します。
- ② 介護等体験のスケジュールについては、後出の「教職課程行事予定表」を参考して下さい。
- ③ 介護等体験に先立って行われる「介護等体験事前指導」を受けなければ、介護等体験を行うことはできません。
- ④ 介護等体験期間中の「賠償責任保険」への加入が義務づけられています。
- ⑤ 介護等体験を終了した学生は、「証明書」(事前指導で配布)に介護等体験先の学校長・施設長より署名捺印を受け介護等体験実習記録といっしょに教務課教職係へ提出して下さい。「証明書」は免許状授与申請の際に必要です。

(6) 教育実習

- ① 中学校教諭1種免許状取得希望者の履修条件
3年次終了までに卒業所要単位のうち90単位以上修得していること。また、教職に関する科目のうち、「当該教科教育法を含む、6科目以上修得していること。」
- ② 高等学校教諭1種免許状取得希望者の履修条件
3年次終了までに卒業所要単位のうち90単位以上修得していること。また、教職に関する科目のうち、当該教科教育法を含む、5科目以上修得していること。
- ③ 教育実習履修有資格者の発表
教育実習履修有資格者は、3年生の3月下旬に掲示します。
- ④ 教育実習期間
「教育実習」は中学校教諭・高等学校教諭の免許の種類によって実習期間が異なります。中・高両方の免許状取得希望者は、必ず「教育実習I(中学校教諭)5単位」を履修して下さい。
- ⑤ 教育実習事前事後指導
「教育実習I(中学校教諭)5単位」「教育実習II(高等学校教諭)3単位」のうち1単位は「教育実習事前事後指導」に充当しますので、「教育実習事前事後指導」には必ず出席して下さい。また、「教育実習II(高等学校教諭)3単位」をもって「教育実習I(中学校教諭)5単位」に充てることはできません。
- ⑥ 実習校への受け入れ内諾依頼
実習校への受け入れ内諾依頼は、実習を実施する前年度(原則、3年生)に学生本人が行います。学生が依頼できない学校や、大学から申請を必要とする学校などについては、教職課程ガイダンスで説明します。

(7) 免許状の授与申請

教員免許状の取得に必要な単位を修得し免許授与申請手続きを行なった学生は、卒業時に教員免許状を受け取ることができます。

- ① 教員免許状は愛知県教育委員会から交付されます。大学から一括して交付申請手続きを行いますので、4年生は9月下旬の「教員免許状授与一括申請ガイダンス」に必ず出席して下さい。
- ② 教員免許状授与一括申請時に、免許教科1件につき3,500円(交付申請料3,400円及び大学の発行する証明書手数料100円、前年度参考)が必要です。

(8) 履修上の注意

下記の場合は、必ず教務課教職係へ連絡して下さい。

- ① 教職課程を離脱(免許状取得を断念)する場合。
- ② 教職課程は継続するが、事情があって、介護等体験(3年生)や教育実習(4年生)を該当学年に行わない場合。
- ③ 取得希望の免許教科を変更しなければならない場合。
- ④ 3年生の所定期日に提出する、教育実習用「自己紹介書」の記載内容に変更があった場合。
- ⑤ その他、教職係に伝達が必要と思われる事項。例えば、実習校からの連絡など。

(9) 再試験

再試験については下記の通りです。

《対象科目》

教職に関する科目(演習・実習科目を除く)
教科に関する科目「自然地理学」「地誌」
また科目により実施しないことがあります。

《対象学年》 4年生**《再試験受験制限単位》(全学共通科目・学部固有科目・資格科目共通)**

再試験受験制限単位に含まれます。(再試験受験制限単位については全学共通科目・学部固有科目の再試験を参照して下さい)

教職課程行事予定表

名古屋キャンパス

●説明会・手続き ○教育実習 ■介護等体験 ☆免許申請

| 対象学年 | 実施時期 | 履修行事 | 注意事項 |
|-----------|-----------------------|--|--|
| 1年 | 4月上旬 | ●教務・履修ガイダンス(教職課程全般説明) | *課程履修希望者が1年生でやらなければならないことや1年生教職ガイダンス(教職課程履修申し込みの準備等)について説明します。 |
| | 12月上旬 | ●1年生教職ガイダンス(教職課程履修申し込みの準備等) | *履修行程と諸手続きについて説明します。 |
| 2年 | 3月下旬 | ●課程履修の申し込み手続 | *教職課程履修登録費5,000円を納入して下さい。 *課程履修申し込みを行わない場合は、「教職に関する科目」の履修登録はできません。 *中学校免許の申し込み者は、介護等体験の該当者として登録します。 |
| | 10月下旬 | ■2年生教職課程履修者ガイダンス(教職課程履修継続手続きの準備等) | *履修行程と継続手続きについて説明します。 *中学校免許履修者を対象に介護等体験と諸手続きについて説明します。 |
| 3年 | 3月下旬 | ■介護等体験事前指導 | *この事前指導を受講しなければ介護等体験を行うことはできません。 *講習日程は掲示発表します。 |
| | | ●3年生教職課程ガイダンス(教育実習先への依頼) | *教育実習の依頼校の選定と内諾依頼の方法を説明します。 |
| | 3月下旬 | ●課程履修の継続手続 ■介護等体験費用の納入・賠償責任保険の証紙購入 | *教職実習履修費23,000円を納入して下さい。 *中学校免許履修者は介護等体験費を合わせて納付して下さい。また、介護等体験時の賠償責任保険の証紙も購入して下さい。 *継続手続きを行わない場合は、「教職に関する科目」の履修登録を中止します。 |
| | | ○教育実習受け入れの依頼 ○愛知県公立中、名古屋市立学校の教育実習希望登録 | *教育実習希望学校へは、特例を除き、各自で申し込みをします。 *3年次教職課程ガイダンスで依頼方法を説明しますので、それ以前に依頼してはいけません。 *愛知県公立中、名古屋市立学校での教育実習希望者は、所定用紙を受け取り登録して下さい。 |
| | 6月以降 | ■介護等体験の賠償責任保険加入手続 | *所定の手続き用紙を3年次教職課程ガイダンスで配布します。 *3月下旬に購入した証紙を貼付して、保健室(学生課)で手続きを済ませて下さい。 |
| | 6月下旬～7月上旬 | ■介護等体験先の発表(社会福祉施設5日間) ■介護等体験先の資料配布 | *介護等体験先は掲示発表、資料の配布についても掲示で案内します。 |
| | 7月上旬～中旬 | ■介護等体験先の発表(盲・聾・養護学校2日間) ■介護等体験先の資料配布 | |
| | 7月中旬以降 | ■介護等体験による授業欠席届の提出開始 | *所定用紙は教務課資格課程の窓口で受け取って下さい。 *体験の1・2週前に提出して下さい。 |
| | 7月下旬以降(指定日) | ■介護等体験オリエンテーション | *社会福祉施設(5日間)、盲・聾・養護学校(2日間)とも決定先別オリエンテーションの指定日を確認し、必ず出席して下さい。 |
| | 7月上旬 | ○教育実習自己紹介書提出 | *「教職課程履修の手引」綴じ込みの自己紹介書(本学教員用・教職採用)を教務課資格課程窓口へ提出して下さい。(期日は掲示発表します。) |
| | 8月～12月 | ■介護等体験の実施 ■体験記録と体験証明書の提出 | *本学の学生として外部機関に体験受け入れをお願いしています。身なりや言動を正して体験を実施して下さい。 *計7日間の体験終了後、証明書と実習記録を教務課へ提出しなければいけません。 |
| | 3月下旬 | ●4年生教職課程ガイダンス(教育実習の実施) ○教育実習時の賠償責任保険証紙購入 | *教育実習の実施に関する諸注意と必要書類の説明をします。 *教育実習時の賠償責任保険の証紙を購入して下さい。 |
| 4月上旬～ | ○愛知県公立中、名古屋市立学校の実習校決定 | *決定したい、個別に必要な手続きの連絡をします。 | |
| | ○教育実習事前事後指導・実施 | *事前指導で指導案や実習記録の作成について学んで下さい。 *日程は掲示発表します。 | |
| 4月上旬以降 随時 | ○教育実習期間と実習校との打合せ日程の確認 | *教育実習予定校から届く「実習日程の最終確認はがき」を教務課資格窓口で個別に渡します。 *はがき到着の有無は、掲示で案内します。 | |
| | ○教育実習による授業欠席届の提出開始 | *所定用紙は教務課資格課程の窓口で受け取って下さい。 *体験の1・2週前に提出して下さい。 *実習校での打合せ日も欠席届に記入して下さい。 | |
| 4月中旬以降 随時 | ○教育実習の賠償責任保険加入手続 | *所定の手続き用紙を4年次教職課程ガイダンスで配布します。 *3月下旬に購入した証紙を貼付して、保健室(学生課)で手続きを済ませて下さい。 | |
| | ○教育実習観察指導担当教員との面談 | *実習中に各学部の教員が視察に行きます。 *視察担当教員は、教育実習の授業担当教員に確認し面談して下さい。 *実習期間中は視察指導教員と直接連絡が取れるようにしておいて下さい。 *視察指導教員宛に実習の途中経過の報告をして下さい。 | |
| 4月下旬以降 随時 | ○教育実習観察指導担当教員との面談 | | |
| 9月中旬 | ☆教員免許一括申請ガイダンス | *免許状授与申請を大学でとりまとめて申請するための説明をします。 *3卒業見込で、申請免許授与に必要な単位を取得見込みの4年生が対象です。科目等履修生は該当しません。 | |
| 9月下旬 | ☆教員免許一括申請手続(1回目) | *申請者登録カードの提出と同時に申請費用を納付していただきます。 *教育委員会へ免許状授与見込み者の登録をします。 | |
| 11月下旬 | ☆教員免許一括申請手続(2回目) | *教育委員会から登録者情報が出力された授与願用紙が大学に届きます。その内容を教務課資格課程の窓口で確認した上で印鑑を押して下さい。 | |
| 卒業式(予定) | 教員免許状の交付 | *卒業所要単位と申請教科の所要単位の充足を教務課で確認し教育委員会へ最終申請します。 *免許状は卒業証書とともに手渡します。 | |

注 教職課程行事の詳細は各ガイダンスまたは掲示で連絡します。

教職共通科目

| 科目名 | 単位 | 開講 | 備考 |
|----------------|----|---------|-------------|
| 日本国憲法☆ | 2 | 1～4年 | 必修 |
| 個人スポーツA・B☆ | 各1 | 1～4年 | 2単位 選択必修 |
| チームスポーツA・B☆ | 各1 | 1～4年 | |
| フィットネスA・B☆ | 各1 | 1～4年 | |
| シーズンスポーツA・B☆ | 各1 | 19年度不開講 | |
| 障害者スポーツA・B☆ | 各1 | 1～4年 | |
| 基礎英語コミュニケーション☆ | 2 | 1年 | 2単位 選択必修 |
| 総合英語コミュニケーション☆ | 2 | 1年 | |
| 情報リテラシー※ | 2 | 1年 | 必修 |

注. ☆印の全学共通科目および※印の学部固有科目は、いずれも履修登録制限単位に含まれます。

教科に関する科目(社会・地歴・公民)

| 科目名 | 単位 | 開講 | 備考 | | |
|-----------|----|------|-------|-------|-----------------------|
| | | | 中1種 | 高1種 | |
| 日本史A・B☆ | 各2 | 1～4年 | 中1種社会 | 高1種地歴 | |
| 西洋史A・B☆ | 各2 | 1～4年 | 中1種社会 | 高1種地歴 | |
| 東洋史A・B☆ | 各2 | 1～4年 | 中1種社会 | 高1種地歴 | |
| 地理学A・B☆ | 各2 | 1～4年 | 中1種社会 | 高1種地歴 | |
| 自然地理学 | 4 | 3年 | 中1種社会 | 高1種地歴 | |
| 地誌 | 4 | 2年 | 中1種社会 | 高1種地歴 | |
| 政治学A・B☆ | 各2 | 1～4年 | 中1種社会 | | 高1種公民 |
| 倫理学A・B☆ | 各2 | 1～4年 | 中1種社会 | | 高1種公民 |
| マクロ経済学※ | 4 | 2～4年 | 中1種社会 | | 高1種公民 |
| ミクロ経済学※ | 4 | 2～4年 | 中1種社会 | | 高1種公民 |
| 国際法I・II※ | 各2 | 2～4年 | | | 高1種公民 |
| 心理学A・B☆ | 各2 | 1～4年 | | | 高1種公民 |
| 国際経済学※ | 2 | 2～4年 | | | 高1種公民 12単位 選択必修 |
| 行政法I・II※ | 各2 | 2～4年 | | | |
| 社会学A・B☆ | 各2 | 1～4年 | | | |
| 哲学A・B☆ | 各2 | 1～4年 | | | |
| 社会保障論※ | 2 | 2～4年 | | | |
| 現代の景気循環※ | 2 | 2～4年 | | | |
| 財政の基礎※ | 2 | 2～4年 | | | |
| 金融の基礎※ | 2 | 2～4年 | | | |
| 貿易論の基礎※ | 2 | 2～4年 | | | |
| 労働経済の基礎※ | 2 | 2～4年 | | | |
| 地方政府の経済学※ | 2 | 2～4年 | | | |
| 環境経済の基礎※ | 2 | 2～4年 | | | |
| 日本経済論※ | 2 | 2～4年 | | | |
| 日本経済の基礎※ | 2 | 2～4年 | | | |
| 西洋経済史※ | 2 | 2～4年 | | | |
| 日本経済史※ | 2 | 2～4年 | | | |
| 現代日本経済史※ | 2 | 2～4年 | | | |
| 経済史概論※ | 2 | 2～4年 | | | |
| 都市経済学※ | 2 | 2～4年 | | | |
| 中部経済論※ | 2 | 2～4年 | | | |
| アジア経済論※ | 2 | 2～4年 | | | |
| アメリカ経済論※ | 2 | 2～4年 | | | |
| ヨーロッパ経済論※ | 2 | 2～4年 | | | |
| | | | | | 高1種地歴 12単位 選択必修 |

注. ☆印の全学共通科目および※印の学部固有科目は、いずれも履修登録制限単位に含まれます。

教科に関する科目(商業)

| 科目名 | 単位 | 開講 | 備考 | |
|-------------|----|------|-------|--|
| | | | 高1種 | |
| マクロ経済学入門※ | 2 | 1年 | 高1種商業 | |
| ミクロ経済学入門※ | 2 | 1年 | 高1種商業 | |
| 商法I・II※ | 各2 | 2~4年 | 高1種商業 | |
| 会计学I・II※ | 各2 | 2~4年 | 高1種商業 | |
| 職業指導 | 4 | 3~4年 | 高1種商業 | |
| 簿記I・II※ | 2 | 1年 | 高1種商業 | |
| データからみた経済※ | 2 | 1年 | | |
| 経済数学※ | 2 | 1年 | | |
| 経済と経済学の歩み※ | 2 | 1年 | | |
| 経済統計論※ | 2 | 2~4年 | | |
| 産業関連分析※ | 2 | 2~4年 | | |
| 計量経済学の基礎※ | 2 | 2~4年 | | |
| 計量経済学※ | 2 | 2~4年 | | |
| 経済情報の活用※ | 2 | 2~4年 | | |
| 経済シミュレーション※ | 2 | 2~4年 | | |
| 経済学史※ | 2 | 2~4年 | | |
| 現代経済学史※ | 2 | 2~4年 | | |
| 保険論※ | 2 | 2~4年 | | |
| 国際金融論※ | 2 | 2~4年 | 高1種商業 | |
| 国際通貨論※ | 2 | 2~4年 | 16単位 | |
| 財政の仕組み※ | 2 | 2~4年 | 選択必修 | |
| 租税の経済学※ | 2 | 2~4年 | | |
| 市場と規制の経済学※ | 2 | 2~4年 | | |
| 金融政策※ | 2 | 2~4年 | | |
| 銀行論※ | 2 | 2~4年 | | |
| 証券論※ | 2 | 2~4年 | | |
| ファイナンス論※ | 2 | 2~4年 | | |
| 労働経済論※ | 2 | 2~4年 | | |
| 貿易論※ | 2 | 2~4年 | | |
| 入門貿易政策※ | 2 | 2~4年 | | |
| 国際マクロ経済学※ | 2 | 2~4年 | | |
| 中小企業論※ | 2 | 2~4年 | | |
| 情報メディア論※ | 2 | 2~4年 | | |

注. ☆印の全学共通科目および※印の学部固有科目は、いずれも履修登録制限単位に含まれます。

教職に関する科目

| 科目名 | | 単位 | 開講 | 備考 | | | |
|----------------|----------|----|------|-------------|-------|-------|-------|
| | | | | 中1種 | 高1種 | | |
| 教育原論 | 教育学Aで読替☆ | 2 | 1~4年 | 中1種社会 | 高1種地歴 | 高1種公民 | 高1種商業 |
| 教育構造論 | 教育学Bで読替☆ | 2 | 1~4年 | 中1種社会 | 高1種地歴 | 高1種公民 | 高1種商業 |
| 発達と学習の原理 | 心理学Bで読替☆ | 2 | 1~4年 | 中1種社会 | 高1種地歴 | 高1種公民 | 高1種商業 |
| 教職入門 | | 2 | 2年 | 中1種社会 | 高1種地歴 | 高1種公民 | 高1種商業 |
| 教育課程論 | | 2 | 2年 | 中1種社会 | 高1種地歴 | 高1種公民 | 高1種商業 |
| 教育方法論 | | 2 | 3年 | 中1種社会 | 高1種地歴 | 高1種公民 | 高1種商業 |
| 道德教育の研究 | | 2 | 2年 | 中1種社会 | | | |
| 特別活動の方法 | | 2 | 4年 | 中1種社会 | 高1種地歴 | 高1種公民 | 高1種商業 |
| 生徒指導・進路指導の方法 | | 2 | 4年 | 中1種社会 | 高1種地歴 | 高1種公民 | 高1種商業 |
| 教育相談(カウンセリング) | | 2 | 3年 | 中1種社会 | 高1種地歴 | 高1種公民 | 高1種商業 |
| 社会科教育法 | | 4 | 3年 | 中1種社会 | | | |
| 社会・地理歴史科教育法 | | 4 | 3年 | 中1種社会 | 高1種地歴 | | |
| 社会・公民科教育法 | | 4 | 3年 | 1科目選択必修 | | 高1種公民 | |
| 商業科教育法 | | 4 | 3年 | | | | 高1種商業 |
| 教職総合演習I | | 2 | 3・4年 | 中1種社会 | 高1種地歴 | 高1種公民 | 高1種商業 |
| 教職総合演習II | | 4 | | (平成19年度不開講) | | | |
| 教育実習I(中学校教諭) | | 5 | 4年 | ◎中1種社会 | ◎ | ◎ | ◎ |
| 教育実習II(高等学校教諭) | | 3 | 4年 | | 高1種地歴 | 高1種公民 | 高1種商業 |

注1 ☆印の全学共通科目は、いずれも履修登録制限単位に含まれます。

注2 ◎印の中1種、高1種両免許状取得希望者は、「教育実習I」を履修して下さい。